

ヤブヨモギ

学名 *Artemisia codonocephala* Diels

目名

目名学名

科名 キク科

科名学名 Compositae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

分布域が狭く、本県では、主として火山性高原に群生している。草原開発や植林、野焼きの停止などで、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域
分布域	九州(熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(北部, 東北部)
生育環境	丘陵地や退散地の草地や林縁。
現 状	野焼きされている草原に群生地がみられるが, 人工牧野や植林地などでは, ほとんど消滅している。
備 考	大陸系遺存植物。九州の生育地は分布の南限域にあたる。異名: プンゴヨモギの基準標本産地[豊後国飯田]